



平成30年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月5日

上場会社名 カネコ種苗株式会社

上場取引所 東

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 平成30年1月11日

配当支払開始予定日

平成30年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	24,923	4.3	278	11.7	338	3.6	193	18.4
29年5月期第2四半期	23,900	3.9	315	35.8	351	35.7	237	32.9

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 381百万円 (3.4%) 29年5月期第2四半期 395百万円 (12.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	16.51	
29年5月期第2四半期	20.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	34,021	17,890	52.6	1,523.85
29年5月期	43,369	17,686	40.8	1,506.34

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 17,890百万円 29年5月期 17,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		11.00		15.00	26.00
30年5月期		11.00			
30年5月期(予想)				15.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	2.9	2,050	1.7	2,150	1.6	1,450	2.6	123.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期2Q	11,772,626 株	29年5月期	11,772,626 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年5月期2Q	32,042 株	29年5月期	31,555 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期2Q	11,740,911 株	29年5月期2Q	11,741,346 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年6月1日～平成29年11月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業業績の改善、堅調な輸出などの効果により、戦後2番目の長さの景気回復と言われているものの、その実感は希薄な状況で、加えて、新興国の景気下振れや地政学リスクの高まりなど、不安要素を抱えています。

また、国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、長雨や台風により農作物が被害を受けるなど、農家経営は一層不安定化しております。

このような状況のなか当社グループの業績は、施設材事業、農材事業及び種苗事業で販売が順調に推移したことから、売上高249億23百万円で前年同四半期比10億23百万円（4.3%）の増収となりましたが、利益面では農材事業や施設材事業等で減益となり、営業利益2億78百万円で前年同四半期比37百万円（11.7%）減、経常利益3億38百万円で前年同四半期比12百万円（3.6%）減、親会社株主に帰属する四半期純利益1億93百万円で前年同四半期比43百万円（18.4%）減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、牧草種子関係で、飼料用トウモロコシの輸出や災害復旧向け芝種子、緑肥種子の販売が増加するなど順調に推移いたしました。野菜種子関係は、販売時期が下半期にずれ込んだことによるキャベツの売上減などの減収要因があったものの、エンジンの輸出増や新規に連結を開始したフィリピン所在の子会社（フィリピン・カネコ・シーズ・コーポレーション）の業績が付加されたことに伴い堅調に推移いたしました。種苗事業全体の売上高は35億65百万円で前年同四半期比4.2%の増収となり、利益面においても、セグメント利益5億56百万円で前年同四半期比29.8%増となりました。

花き事業

花き事業においては、10月～11月に雨天の日が続くなどの天候不順の影響から家庭園芸資材の需要が低迷し、売上高33億11百万円で前年同四半期比2.9%減収となりました。利益面においても、セグメント損失72百万円（前年同四半期のセグメント損失は66百万円）で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、茎葉除草剤の需要増や土壌消毒剤の値上がり前の駆込み需要などを取込み、売上高109億43百万円で前年同四半期比2.7%増となりました。利益面については、競争激化による採算性の低下からセグメント利益72百万円で前年同四半期比55.1%減となりました。

施設材事業

施設材事業においては、積極的な新規販売先の開拓が功を奏したことなどから、売上高68億97百万円で前年同四半期比9.5%増となったものの、養液栽培プラント及び温室工事の減少や、一般農業資材の市況低迷等により採算性が悪化したことなどから、セグメント利益は1億84百万円で前年同四半期比11.1%減となりました。

造園事業

造園事業においては、工事完工高伸長等に伴い売上高2億6百万円で前年同四半期比84.6%増となり、セグメント利益は4百万円（前年同四半期は4百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は340億21百万円となり、前連結会計年度末と比較して93億47百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、161億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して95億52百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

「純資産の部」の残高は、178億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億4百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4億71百万円減少し、38億97百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、16億12百万円（前年同四半期比31.6%増）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額112億84百万円が、売上債権の減少額89億18百万円及びたな卸資産の減少額8億29百万円を上回ったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3億41百万円（前年同四半期比455.9%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出3億42百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、14億83百万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月11日の「平成29年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,702,589	4,231,042
受取手形及び売掛金	22,200,662	13,320,814
商品	6,774,347	5,868,099
その他	1,500,654	1,999,090
貸倒引当金	△21,792	△12,922
流動資産合計	35,156,461	25,406,124
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,196,523	4,196,523
その他(純額)	1,680,338	1,962,941
有形固定資産合計	5,876,862	6,159,465
無形固定資産	44,955	39,149
投資その他の資産		
その他	2,303,425	2,428,966
貸倒引当金	△12,619	△12,598
投資その他の資産合計	2,290,806	2,416,368
固定資産合計	8,212,624	8,614,982
資産合計	43,369,085	34,021,107
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,201,137	11,395,717
短期借入金	—	1,660,000
未払法人税等	397,090	122,256
その他	1,208,135	1,088,291
流動負債合計	23,806,363	14,266,265
固定負債		
退職給付に係る負債	1,640,457	1,636,603
役員退職慰労引当金	117,750	115,650
その他	118,495	111,681
固定負債合計	1,876,702	1,863,935
負債合計	25,683,066	16,130,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,221	1,765,221
利益剰余金	14,158,524	14,176,265
自己株式	△21,497	△22,259
株主資本合計	17,393,515	17,410,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639,772	805,401
為替換算調整勘定	△32,621	△33,619
退職給付に係る調整累計額	△314,646	△291,369
その他の包括利益累計額合計	292,504	480,412
純資産合計	17,686,019	17,890,906
負債純資産合計	43,369,085	34,021,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	23,900,568	24,923,915
売上原価	20,167,231	21,009,707
売上総利益	3,733,336	3,914,208
販売費及び一般管理費	3,417,585	3,635,548
営業利益	315,751	278,659
営業外収益		
受取配当金	16,371	16,407
受取家賃	29,094	30,746
受取保険金	—	17,403
その他	8,484	8,948
営業外収益合計	53,950	73,506
営業外費用		
支払利息	9,833	7,203
為替差損	8,412	5,758
その他	—	482
営業外費用合計	18,245	13,444
経常利益	351,456	338,721
特別損失		
固定資産処分損	17	40,933
投資有価証券売却損	—	3,375
特別損失合計	17	44,309
税金等調整前四半期純利益	351,439	294,412
法人税等	113,765	100,554
四半期純利益	237,673	193,857
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,673	193,857

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	237,673	193,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134,971	165,628
為替換算調整勘定	—	△997
退職給付に係る調整額	22,441	23,277
その他の包括利益合計	157,413	187,908
四半期包括利益	395,086	381,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,086	381,765

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	351,439	294,412
減価償却費	102,870	105,439
売上債権の増減額(△は増加)	9,376,254	8,918,292
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,298,394	829,909
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,792,158	△11,284,090
その他	△239,300	△189,049
小計	△902,500	△1,325,085
法人税等の支払額	△328,192	△314,378
その他	5,755	26,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,224,937	△1,612,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△64,888	△342,770
投資有価証券の売却による収入	—	14,973
その他	3,426	△13,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,462	△341,695
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,460,000	1,660,000
配当金の支払額	△181,558	△169,727
その他	△52,153	△7,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,226,288	1,483,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△333
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,112	△471,546
現金及び現金同等物の期首残高	3,891,868	4,369,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,831,756	3,897,542

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,422,872	3,408,617	10,659,379	6,297,578	112,122	23,900,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,313	55	953	1,472	-	18,793
計	3,439,185	3,408,672	10,660,332	6,299,050	112,122	23,919,361
セグメント利益又は損失(△)	429,070	△66,719	160,818	207,625	△4,719	726,075

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	726,075
全社費用(注)	△410,324
四半期連結損益計算書の営業利益	315,751

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,565,423	3,311,056	10,943,286	6,897,224	206,926	24,923,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,304	188	341	1,110	60	20,003
計	3,583,727	3,311,244	10,943,627	6,898,334	206,986	24,943,918
セグメント利益又は損失(△)	556,932	△72,793	72,192	184,631	4,335	745,297

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	745,297
全社費用(注)	△466,638
四半期連結損益計算書の営業利益	278,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。